



東日本大震災における
東海村の被害状況とその復旧対策

みらいの会 高橋 昭 議員

分散教育における
東海中学校の復旧計画

議員 去る3月11日の地震のため、校舎が使用できなくなり分散教育をしている東海中学校の仮設校舎建設場所と建設時期について。

また、今回隣接する日本原子力発電(株)の石橋向社宅跡地を取得することになった土地の利用はどうするのか。
教育次長 最優先の課題は、東海中学校の現状の解消であります。校舎の被災により、生徒はそれぞれ3カ所に分散して授業をしており、教育的観点、特に学習する上での正常な教育環境を確保する

ためにも、2学期から使用できるようグラウンドに仮設校舎を建設します。そのためグラウンドが使用できなくなるため、日本原子力発電(株)の石橋向社宅跡地を買収し、本年からグラウンドの造成工事に入る計画です。

議員 生徒の安全確保のためにも早急な建設を望みます。

村松小学校に間借りしている昭沼小学校の改築計画の見直しについて

議員 当初、昭沼小学校は生徒が授業を受けながらの改築工事であったが、今回の被災により村松小学校に間

借りし、児童が居ない現状から工事を見直し一括取り壊し、一括着工して当初計画の予定より早めの開校をしてはどうか。

教育次長 当初の計画では生徒が授業を受けながらの改築工事であったが、被災における資材の確保、労働者の確保が前提になり計画どおり工事は進んではいませんが、進入道路やグラウンドを使用しながら工事短縮の方法を考え開校をしたいと考えております。

議員 一日も早く開校できることを強く望みます。



コミセン避難所、運営責任者の
事前の任命と設置を求める

公明党 岡崎 悟 議員

議員 村は、自治会、自主防災組織、ボランティア団体等と連携を図りながら、避難所運営を円滑に行うため、

避難所の正・副責任者を事前に任命し、地域の会合等で紹介すべきです。



白方コミセン

議員 村は、自治会、自主防災組織、ボランティア団体等と連携を図りながら、避難所運営を円滑に行うため、

福祉避難所の指定と
設置の進捗を問う

総務部長 今回の震災を経験し、地域防災計画の見直しを含め、正・副責任者の事前任命について、防災担当課とともに検討します。
議員 村長の考えは、
村長 ご意見ごもつともです。自治会、民生委員、防災組織等との事前の体制づくりが重要であり、必要と考え

議員 平成21年6月議会で、福祉避難所の指定と設置を求めました。その時は(仮称)災害時要援護者避難支援計画の策定の中で判断することのことでした。この避難支援計画の進捗状況は。

- ます。地域防災計画の見直しの中で検討します。
- 福祉部長** 総合福祉センター「絆」と「なごみ」を福祉避難所と指定した上で、今年度中に、どのような資機材を準備するか検討し、順次配備していく考えです。
- 〈その他の質問から〉
- ・ミニ家庭用貯留槽設置への助成
 - ・避難所のトイレ対策(マンホールトイレ)
 - ・コミセンの貯留槽と井戸対策
 - ・防災行政無線のバッテリー対策
 - ・コミセン避難所の非常用電源対策
 - ・不育治療対策